恵那峡と大井ダム

Ena Valley and Oi Dam

男伊達ならこの木曽川の　流れくる水　止めてみよ

木曽節にも歌われた急峻で流れの早い暴れ川は、大正13年(1924)にこの恵那の地でダムにより堰き止められた。日本の大規模ダムの先兵となった巨大な発電用コンクリート式ダムの誕生である。建設の担い手は大正・昭和期の大手電力会社の「大同電力」。当時社長であり、のちに「電力王」と言われるようになった福沢桃介が建設を主導した。

建設工事は度重なる洪水被害に見舞われて難航し、さらに関東大震災による金融不安で資金調達が滞り事業継続が危ぶまれるなど、幾度も困難に直面した。いかに「木曽川の水」を止めるのが難しかったかが察せられる。しかし大井ダムは完成し、ダム湖となった恵那湖は、恵那峡という景勝地の中心として見事な観光スポットになった。そして平成19年(2007)には、中部山岳地帯の電源開発に関する貴重な産業群の一つとして、大井ダムならびに大井発電所は国の「近代化産業遺産」に認定されている。大井ダムと恵那湖を両方見ることができる天端と言われるダム上の道を歩いていると、経済と自然の両面を見ることができる。一列に並んだ古の風情を漂わせるランプの傘は、その全てをずっと見守り続けている。

福沢桃介と川上貞奴を描いた小説「水燃えて火」の作者
神津カンナ著

大井発電所、大井ダム

建設初期のダム

建設中の洪水

恵那峡への行き方

Access

名古屋から車で約1時間、東京方面・大阪方面からのアクセスも良好。

高速道路をご利用の場合

名古屋ICより 東名高速ー中央自動車道にて約50分
恵那ICから　約**10**分

名古屋（名古屋 IC）	東名高速道路ー中央自動車道 約60km・約45分	小牧 JCT
豊田（豊田東 IC）	東海環状自動車道ー中央自動車道 約72km・約50分	土岐 JCT
中部国際空港（セントレア東IC）	知多半島道路ー東海環状自動車道ー中央自動車道 約120km・約1時間30分	半田中央 JCT　豊田 JCT　土岐 JCT

恵那 I.C

鉄道をご利用の場合

名古屋駅よりJR中央本線・快速にて約1時間、
恵那駅下車　路線バスにて約**15**分

名古屋 ― JR中央本線　快速約1時間 ― 恵那

【 お問い合わせ 】

■恵那峡ビジターセンター

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町 2709 番地 79
TEL：0573-32-1790 ／ FAX：0573-32-1790
営業時間　9:00～17:00（12 月～3 月までは、10:00～16:00）

■（一社）恵那市観光協会

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町286番地25
TEL：0573-25-4058 ／ FAX：0573-20-0433

表紙、カラー水墨画製作

可知（りんか） 凛花

岐阜県恵那市出身。6歳から書道を続けている。山岡おばあちゃん市の水車を描いた「母と見た水車」は恵那市美術展にて、日本画部門で市長賞を受賞。ご依頼者を想いながら作品を手掛けている。

ENAKYO 恵那峡

四季折々の、万華鏡。

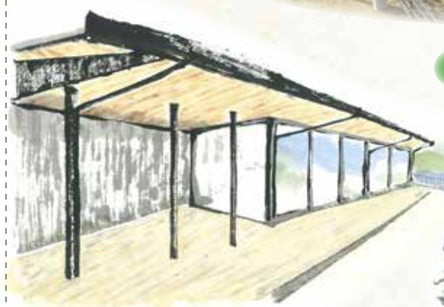
恵那峡を　新しくなった　つかっちゃおう！

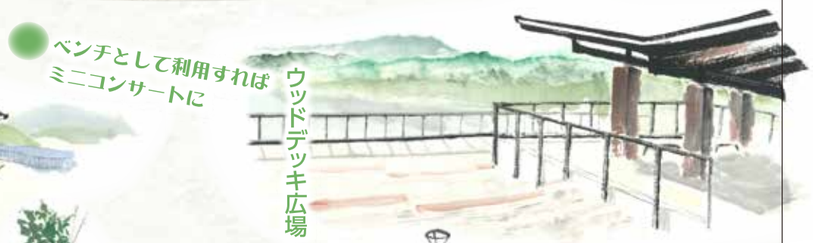
ー 恵那峡公園施設利用案内 ー

恵那峡が生まれ変わって
市民の方はもちろん、
多くの人にご利用
いただけるようになりました。
新しくなった恵那峡公園を
ぜひご利用ください。

さざなみ広場
景色を眺めながらのお茶会に

にぎわい広場
広々とした空間は
マルシェにぴったり


恵那峡ビジターセンター
ワークショップや勉強会に最適


ウッドデッキ広場
ベンチとして利用すれば
ミニコンサートに

桃介広場
遊具もあって
家族で楽しめる

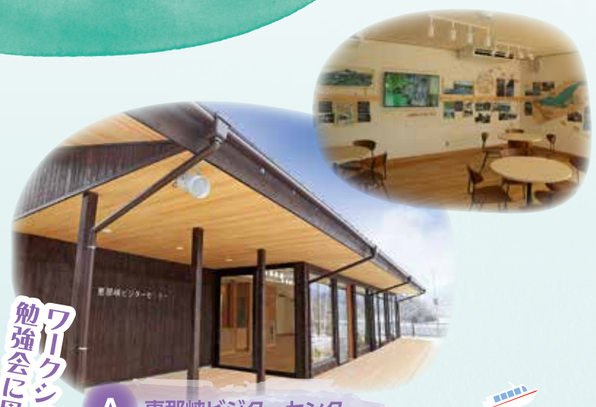
恵那峡公園の一部がご利用いただけます!

春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は水鳥が多く集まり、四季を通じて様々な景観を堪能できる恵那峡。イベントやサークル、コンサートなどに利用できるようになりましたので是非ご利用ください。

広々とした空間はマルシェにぴったり

B にぎわい広場

ビジターセンター前の広場。パラソルのあるテーブルも利用可能で、マルシェ等に便利です。



ワークショップや勉強会に最適

A 恵那峡ビジターセンター

恵那峡の歴史がわかる展示が設置されています。室内でのワークショップや勉強会にご利用ください。

ベンチとして利用すればミニコンサートに

C ウッドデッキ広場

木のぬくもりを感じられるウッドデッキが広がります。段差部はベンチとして利用可能です。

景色を眺めながらのお茶会に

D さざなみ広場

自然豊かな空間が広がります。春には桜並木、秋にはもみじがきれいな場所です。

遊具もあって家族で楽しめる

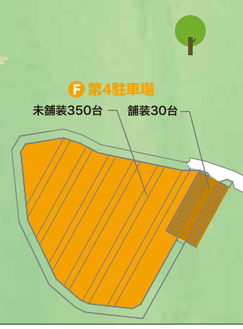
E 桃介広場

ダム建設にゆかりある「福沢桃介」と「川上貞奴」の記念碑があります。小高い場所にあり遊具もあるので、家族で楽しめるスペースです。

車でキャンプや野外コンサート会場にも

F 恵那峡第４駐車場

キャンプはもちろん、カートラベルに利用できたり、ライブコンサートなど、大きな駐車場の利点を活かしてさまざまな用途に利用できます。



●施設利用料金一覧

以下の料金表は、各施設を全面利用した場合の料金です。

施設名	利用区分		料金	単位
A 恵那峡ビジターセンター	市内	居住利用者	550円	1時間あたり
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	660円	
	市外	居住利用者	820円	
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	980円	
B にぎわい広場 広さ：581㎡	市内	居住利用者	12,780円	1日あたり
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	15,330円	
	市外	居住利用者	19,170円	
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	23,000円	
C ウッドデッキ広場 広さ：325㎡	市内	居住利用者	7,150円	1日あたり
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	8,580円	
	市外	居住利用者	10,720円	
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	12,870円	
D さざなみ広場 広さ：1563㎡	市内	居住利用者	34,380円	1日あたり
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	41,260円	
	市外	居住利用者	51,570円	
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	61,890円	
E 桃介広場 広さ：1373㎡	市内	居住利用者	30,200円	1日あたり
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	36,240円	
	市外	居住利用者	45,300円	
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	54,370円	
F 恵那峡第4駐車場 広さ：7711㎡	市内	居住利用者	169,640円	1日あたり
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	203,570円	
	市外	居住利用者	254,460円	
		居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	305,350円	

※B～Fの料金は右記の1㎡当たりの単価より算出し、10円未満は切り捨ての金額となっています。

市内居住利用者 22円／市内居住者（商業宣伝、営業又はこれに類する目的の場合）26.4円
市外居住利用者 33円／市外居住者（商業宣伝、営業又はこれに類する目的の場合）39.6円

利用内容により下記の料金が掛かります

※下記の内容はすべて一日あたりの料金となります

●物品の販売､募金､その他これに類する行為にあたる場合

マルシェやフリーマーケット等がこれに該当します。

市内	居住利用者	220円
	居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	260円
市外	居住利用者	330円
	居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	390円

●興業を行う行為にあたる場合

入場料を取って芸能・スポーツ等の催しを行う事がこれに該当します。

市内	居住利用者	4,400円
	居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	5,280円
市外	居住利用者	6,600円
	居住利用者（商業宣伝、営業又はコレに類する目的の場合）	7,920円

●貸出利用料金

施設で借りることが出来るので、大変な備品の搬入出はありません。

種類	単位	料金
机・10脚（縦1800mm×横450mm×高さ700mm）	1脚あたり	200円
椅子・30脚	1脚あたり	100円
テント・6張り（6m×3m→3張り・3m×3m→3張り）	1張りあたり	1,000円
コンセント	1個あたり	1,000円

施設利用例 マルシェを開きたい！

恵那市内在住Aさんの場合

- ・にぎわい広場を使用 12,780円
- ・物品販売をする 220円
- ・テントを5張り借りる 1,000円×5=5,000円

合計 18,000円